

令和6年度「県大へ行こう—授業公開週間—」公開科目・概要

看護学コース

※1限 9:00~10:30 2限 10:40~12:10 3限 13:00~14:30

4限 14:40~16:10 5限 16:20~17:50

日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
23日・5時限	慢性病看護論	黒田 寿美恵	3213 講義室	20名
看護学コースの2年生を対象とした科目です。慢性病と共に生きる人が自己対処能力を発揮しながら生活を再調整・再構築できるように支援する看護の具体的な方法を学びます。当日は、チーム基盤型学習（TBL）という学習方法を用いて、慢性腎臓病の病態と治療について学びます。				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
15日・2限	看護学概論	青井聡美	4101 講義室	20名
看護学コース・コース選択1年生を対象とした科目です。看護の対象である人間について学びます。また、人間を取りまく環境との相互作用、対処機制、コーピングについて学びます。				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
26日・4限	看護倫理	松森 直美	3213 講義室	20名
看護学コースの2年生を対象とした科目です。看護の現場で遭遇する倫理的な問題について具体的な事例を通して、その解決方法を学びます。今回は、患者の権利と延命処置の事例についてグループワークを行い学修します。				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
15日・3,4限	解剖学実習（骨学実習）	津森登志子・加藤洋司	2305 解剖生理実習室	15名程度/時限
理学療法学・作業療法学コース2年生対象の必修科目です。学生は4人編成の班に分かれ、骨の模型を使用して実習します。当日のテーマは「下肢の骨とその連結」です。骨盤の構成や性差、大腿骨や下腿骨の形状、股関節や膝関節の構成とその運動性などについて、骨模型を触診、視診しながら学生自ら積極的に学修します。				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
23日・1時限	診療に伴う看護方法論	川野綾	3307・3304・3302	15名程度
看護学コースの2年生を対象とした科目です。様々な検査を受ける患者への説明と検査に関わる看護師の役割について学びます。当日は、各グループで作成したパンフレットを用いて、検査の目的、方法、注意事項などを患者さんに分かりやすく説明します。参加される皆さんにも患者役となつてどのグループの説明が分かり易かったか一緒に判定してもらいたいと思っています。				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
15日・2時限	高齢者看護方法論	渡辺陽子	4103 講義室	10名
看護学コース2年生を対象とした科目です。様々な場で生活する高齢者を、看護職として支援する際に必要な知識を身に付けます。当日のテーマは「認知症看護」です。認知症について学び、ご本人・ご家族にとって望ましい関わりとはどのような関わりか、について学生同士で考えます。				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
22日・3時限	リプロダクティブヘルス看護論	上野陽子・加藤裕子	4101 教室	20名

<p>看護学コース2年生を対象とした科目です。女性のライフサイクルにおける健康問題とその支援方法について学びます。当日は、女性の各ライフステージ期の健康問題に関する事例についてグループワークを行い学修します。</p>				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
16日・3時限	家族保健指導論	菅井敏行	4302教室	10名
<p>看護学コース3年生を対象とした科目です。地域看護・在宅看護の対象である家族を看護の対象としてどのように捉え、その力を引き出しながらケアするかについて理解していきます。現代における様々な家族の形態を理解し、社会福祉の視点も紹介しながら講義をすすめます。</p>				
日・時限	内容	担当教員名	教室	受入予定人数
15日・3,4限	急性期看護実践論	中垣和子・岡田淳子・山田裕紀・木場しのぶ・澤岡美咲	3304, 3307 実習室	15名程度/時限
<p>看護学コース3年生を対象とした科目です。この科目では、手術侵襲による急激な変化からの回復を促すための看護および急性期看護に必要な看護技術について学びます。当日は、『術後患者の観察と評価』について医療用シミュレーターを活用し、観察項目の確認、観察の実施、観察結果の評価・発表を通して学修します。</p>				
日・時限	内容	担当教員名	教室	受入予定人数
22日・3,4限	急性期看護実践論	中垣和子・岡田淳子・山田裕紀・木場しのぶ・澤岡美咲	3304, 3307 実習室	15名程度/時限
<p>看護学コース3年生を対象とした科目です。この科目では、手術侵襲による急激な変化からの回復を促すための看護および急性期看護に必要な看護技術について学びます。当日は、『輸液ポンプ・シリンジポンプを用いた輸液管理』と『気管吸引』に関する看護技術を学修します。なお、3限と4限は同じ内容となります。</p>				